



就活で大事にしたことは、地元を離れず、学んだことを社会に貢献できること。それらを考え、吉田ひかりさんが選んだのが博多区の東亜コンサルタントだ。水利系が苦手と伝えると「いろんな分野をやってみて、自分に合うものを決めたらいい」と声をかけてくれた。その言葉は「水利以外」と決めていた考え方を柔軟にする。入社4年目の吉田さんに今後の目標を伺う。

●技術職を選んだきっかけ

土木科の就職率の高さが、この道に入るきっかけです。当初は、業界用語も理解できず、頭に入るまで時間がかかりました。質問したくても「何がわからないかわからない」から、聞くことができない状態。それでも、授業が座学から実習の授業になると、理解も深まりました。

就職先は「働きやすい場所」の一択でした。自分がどこに住みたいか、何を学びたいかと、明確にしていれば、おのずと会社が続いてきます。私は福岡で地域に貢献したいと考えていたので、東亜コンサルタントの理念とピッタリ合いました

●現場の魅力や責務

入社当時から道路設計に関わっていますが、工事の大小に関わらず、施工条件は毎回違います。現地調査や設計を行い、施工して完成までは長い時間を要します。出来上がった時の達成感は格別です。設計対象が大きいと責任も重大ですが、社会基盤を整え、人々の生活をより快適に豊かにできることは、とてもやりがいを感じています。

また、近年は災害が多く発生しています。今後は復旧計画等に携われるよう知見を高めたいと思います。防災減災は国を含め、各市町村でも意識が強くなっています。災害が起きても被害が最小限に抑えられるような設計を、常に考えていきたいです。

●仕事のこだわりやポリシー

わからないことは必ずメモします。それがいつの間にかオリジナルの用語集になりました。方法はシンプルです。わからず調べた用語や基準、それを抜き出して整理。今はメモを取ることも減りました。が、読み返すと「こんな簡単なことがわからなかったのか」と苦笑いします。

できる仕事が増えるのは、うれしい反面、慣れは禁物と、気を引き締めています。確認しても確認しても、確認もれがないか考える。この

担い手シリーズ 24

仕事の幅を広げるには 苦手意識を 克服するしかない

吉田 ひかり 入社4年目(技術部)
株式会社東亜コンサルタント



気持ちにはマイナスではありません。心構えとしてこれからも大事にしたいと思っています。

●印象的な仕事

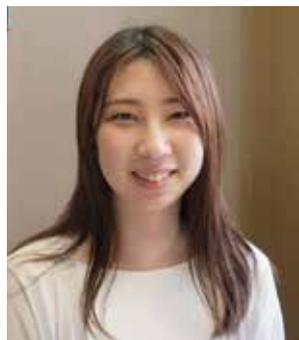
迂回路、道路改修における線形検討です。道路を設計するとき、設計箇所状況によって勾配や曲線半径の適用範囲が異なります。制限のある中で工夫をし、ベストな案を出せるか。メリット・デメリットを抽出し、何パターンも考え、走行性や用地買収など、あらゆる視点で物事を見る必要があり苦労しました。

発注者と協議を重ね、何度も修正を繰り返すことは大変でしたが、よりよいものができあがっていく過程を見ることが実感でき、とても印象に残っています。

●今後の目標

いつかは河川の仕事もトライしたいと思っています。水理学が不得意だったため、就活も水利系は避けていたほどです。ですが、設計の面白さがわかってくると、苦手を克服したい気持ちが生まりました。道路の仕事も橋があれば、河川について考える必要がある。できないから任せられないとは言わないよう努力したいと思います。

また、ICT技術の実用化、BIM・CIMの研修など、会社の代表として行く機会がありました。率先して新しい技術に慣れ、会社や社会に貢献できる技術者になるのが目標です。



吉田 ひかり(よしだ ひかり)
春日市出身。福岡大学工学部社会デザイン工学科卒業。平成30年4月(株)東亜コンサルタント入社

会社概要
(株)東亜コンサルタント
〒812-0007 福岡市博多区東比恵
3-28-10
TEL. 092-415-1313 FAX. 092-431-5331
<https://www.toa-con.co.jp>